

電子学術書利用実験 第二期モニターアンケート結果概要

慶應義塾大学メディアセンター
電子学術書ワーキンググループ
2011年9月29日

第二期モニターアンケート概要

【第二期モニター】

対象者：日吉および矢上キャンパス所属の
学部生・大学院生 38名

モニター期間：2011年5月18日～7月31日

【Webアンケート調査】

質問構成：

A. ipad上の電子書籍アプリの機能評価と

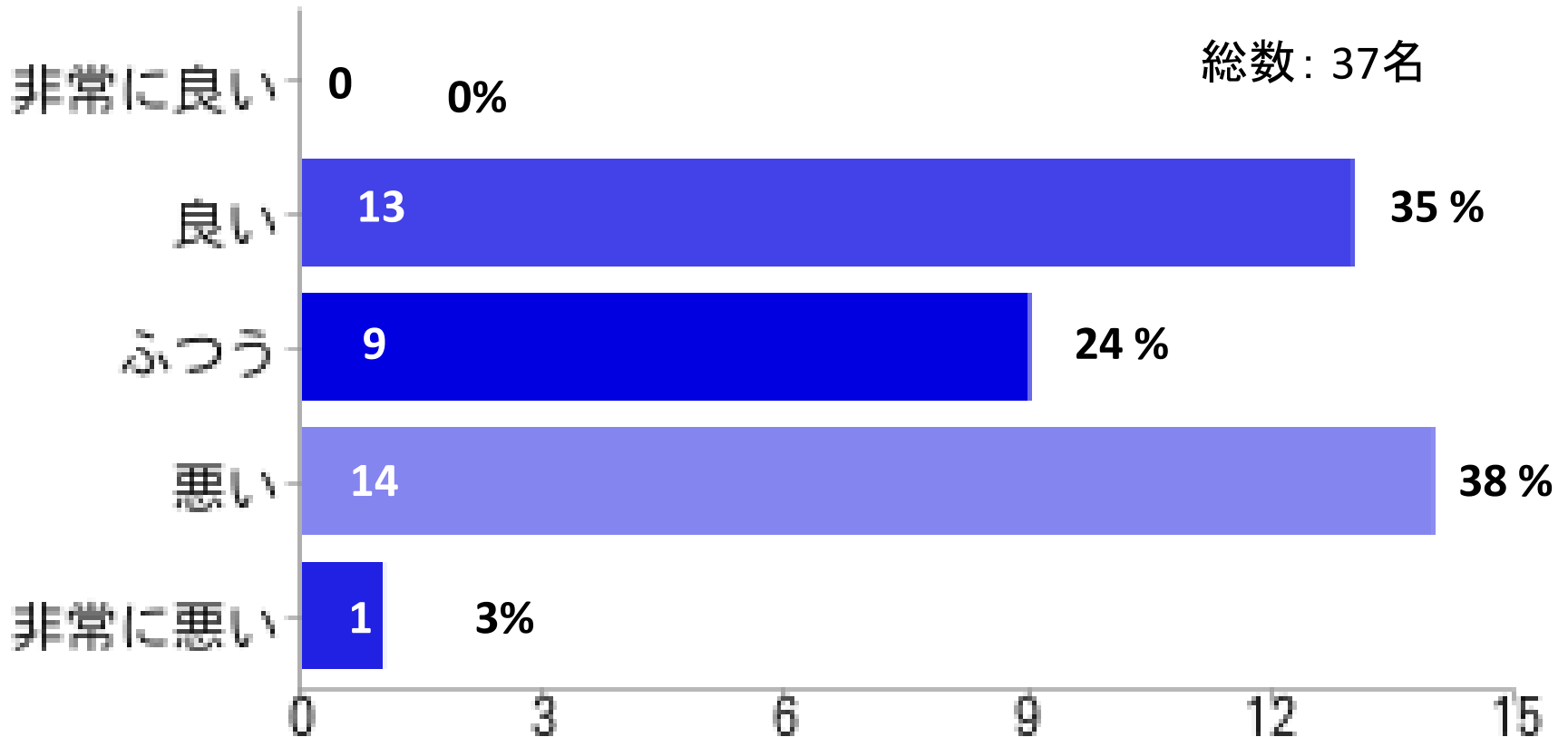
B. 学生の普段の資料や情報の使い方

期間：2011年7月3日～14日

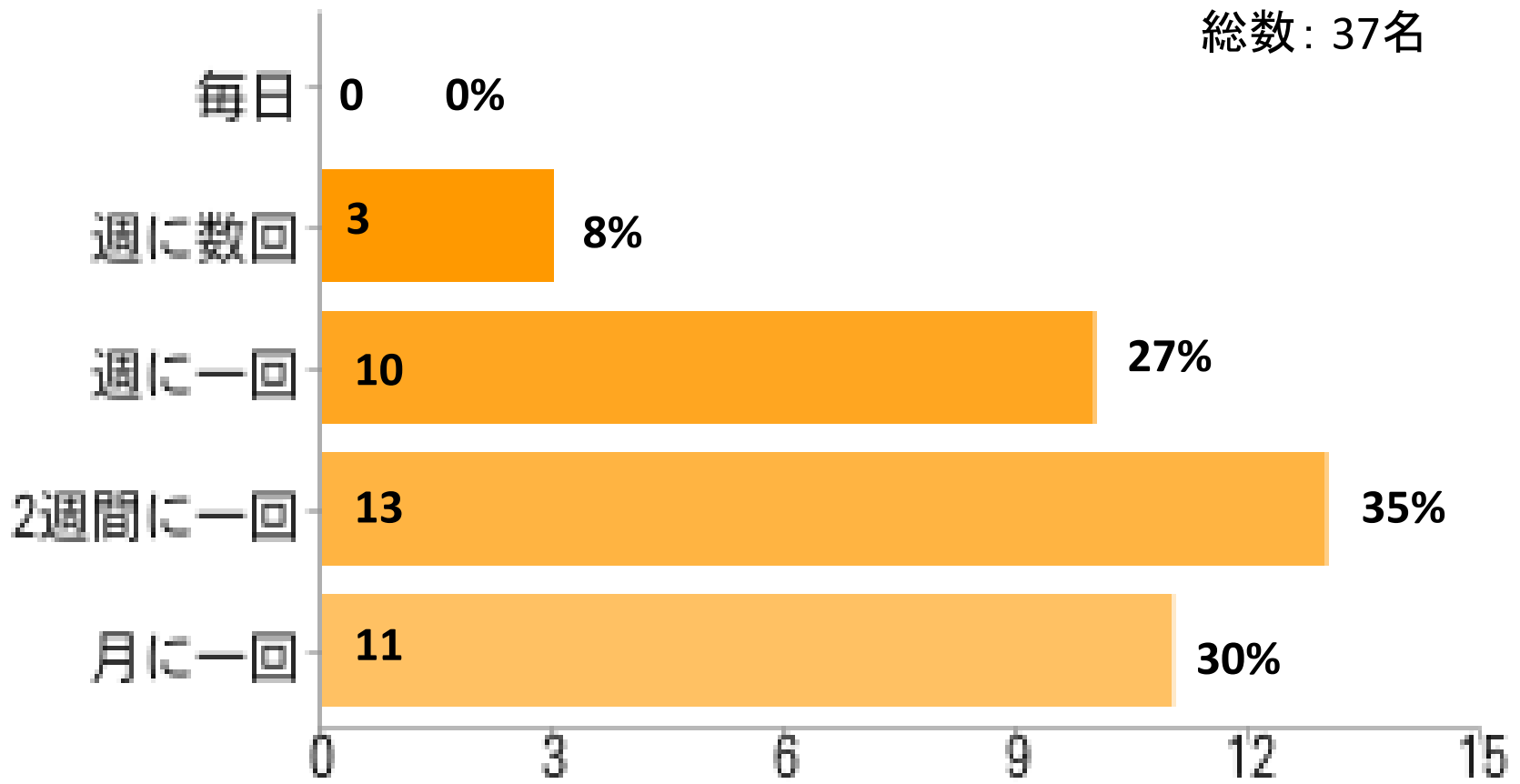
回答者：37名

**質問A.
モニター用電子ブック
(BookLooper)の機能について
評価してください。**

A-1. BookLooperを総合的に 評価してください。

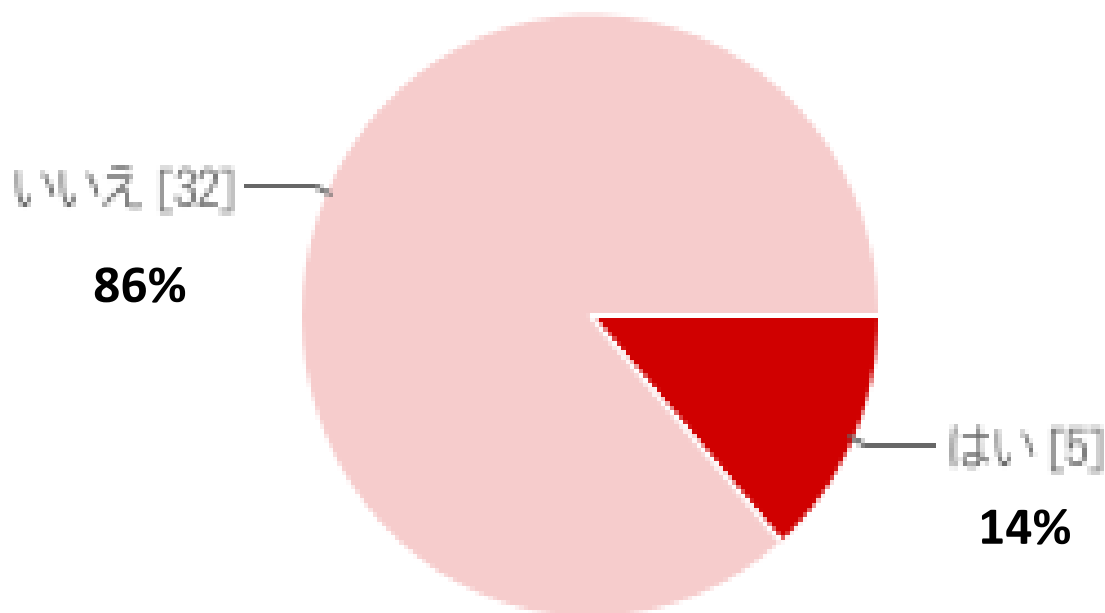


A-2. BookLooperに搭載された電子ブックをどのくらい使いましたか？



A-3. BookLooperの電子ブックを学習や授業等で使いましたか？

総数：37名



はいと答えたモニターが読んだタイトル

- 『実験化学講座』
- 『角運動量とスピン』
- 『細胞培養ラボマニュアル』
- 『酵母ラボマニュアル』
- 法学系タイトル

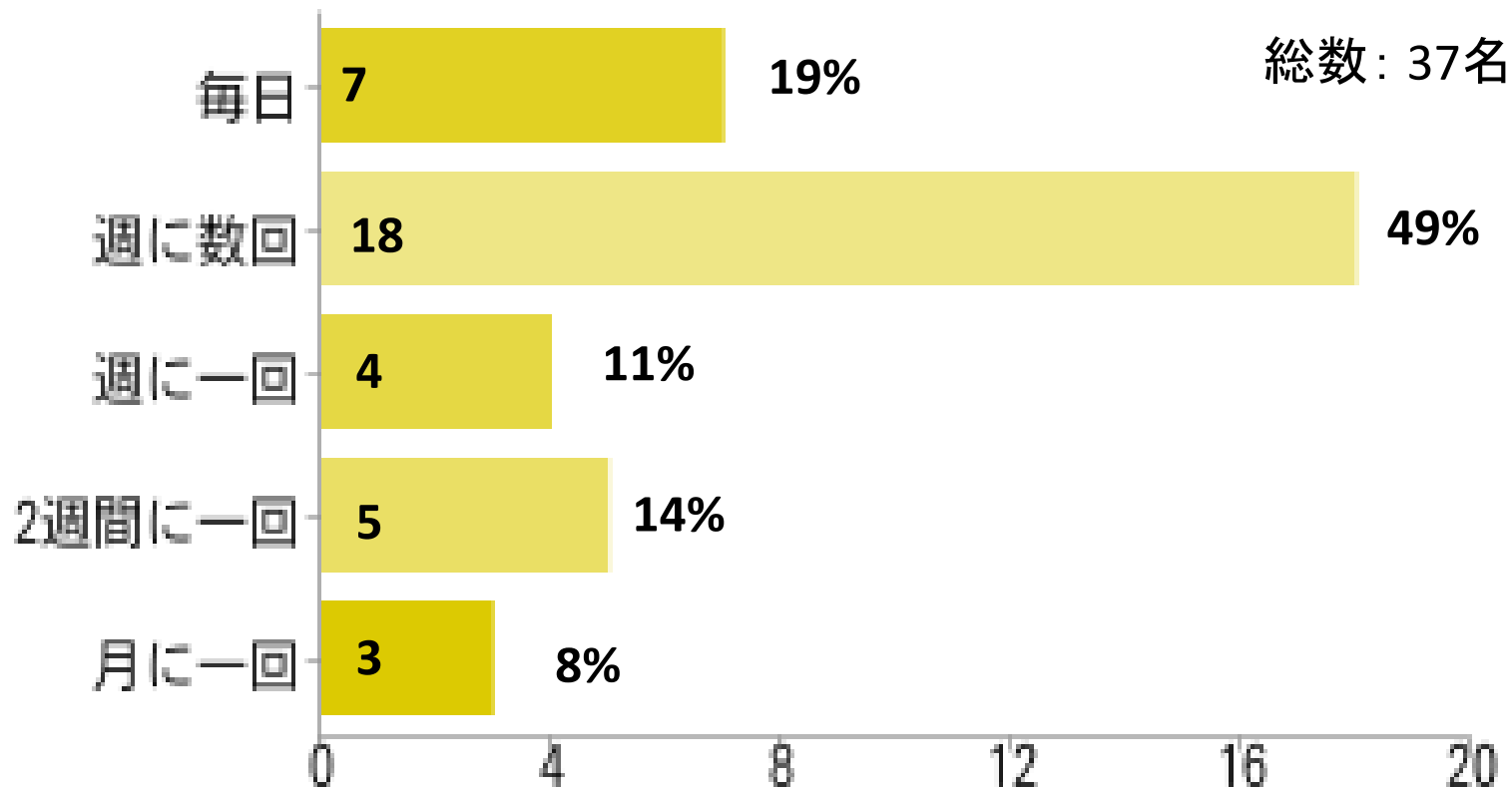
A-3 コメント例：授業等で使った人

- 実験化学講座をダウンロードし、必要な情報を検索して使用した
- 以前受講した授業の復習のため『細胞培養ラボマニュアル』と『酵母ラボマニュアル』を読みました。
- レポートの作成時の文献として、また、法律科目の授業中に使いました。

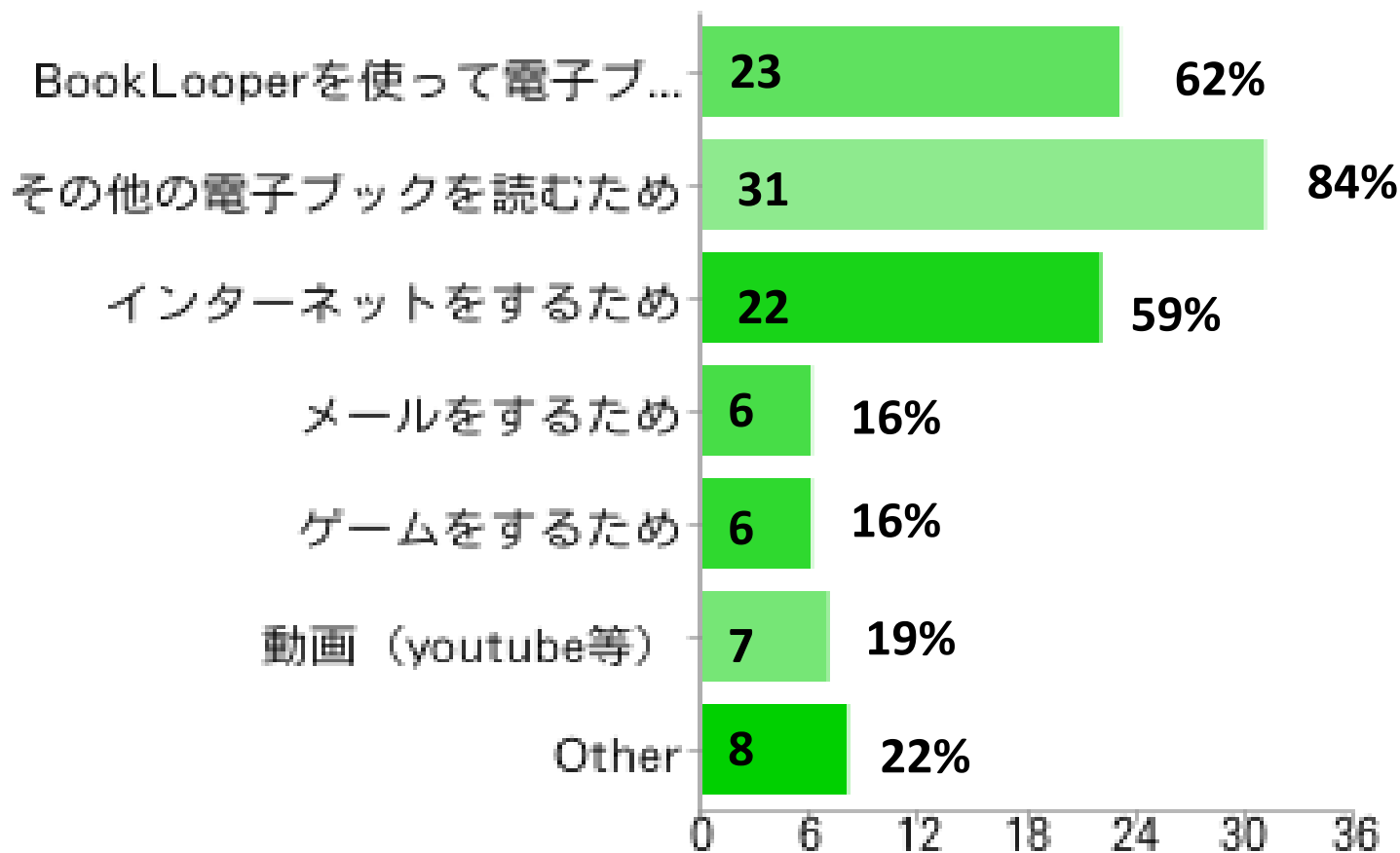
A-3 コメント例：授業等では使わなかった人

- 自分の履修している授業や研究に関わりが深い本がなかったから。
- 授業で使える本がなかった。その人の分野に合わない、あまり意味がないと思った。使おうにも使いきれなかった。
- ダウンロードに手間がかかった（直感的ではなかった）

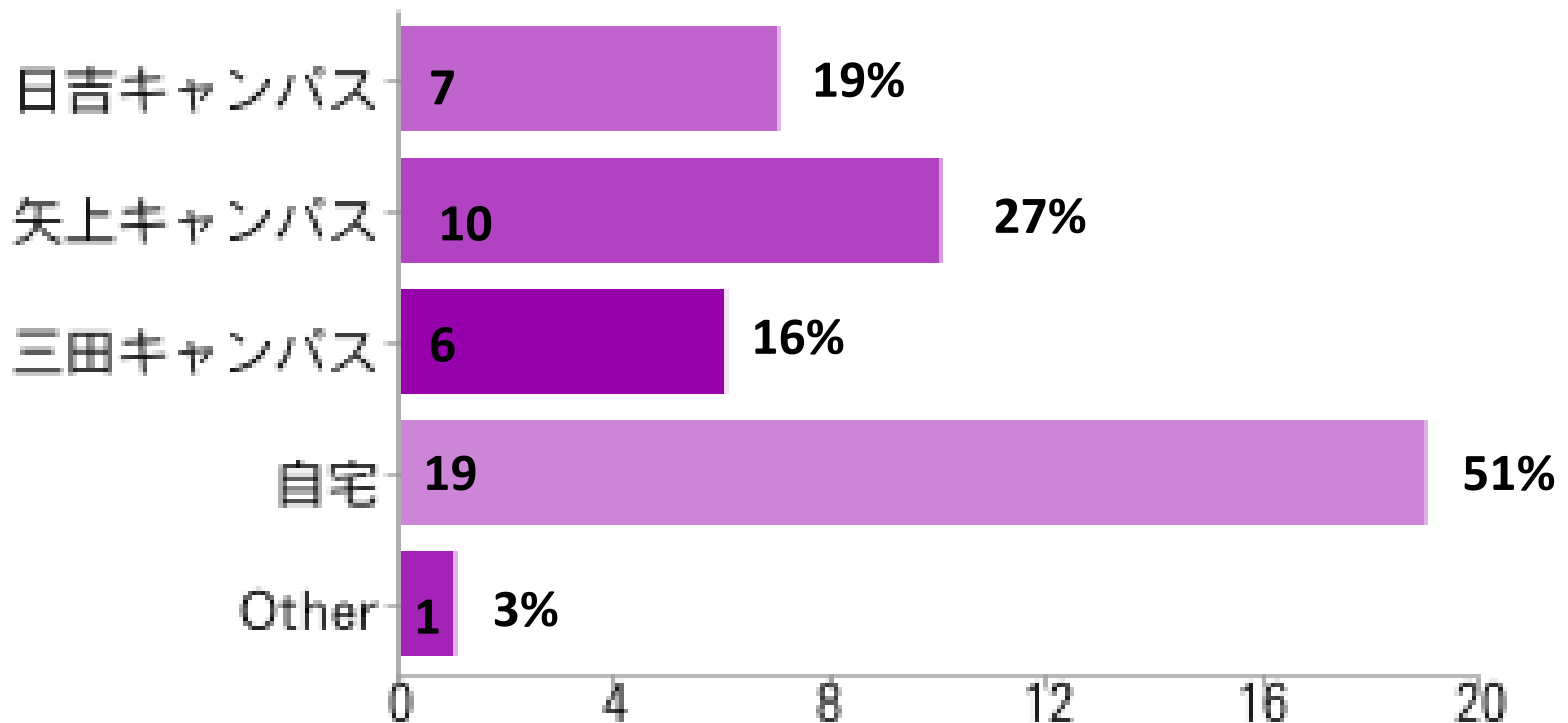
A-4. iPadはどのくらい使いましたか？



A-5. iPadをどのような目的で使いましたか？（複数回答可）

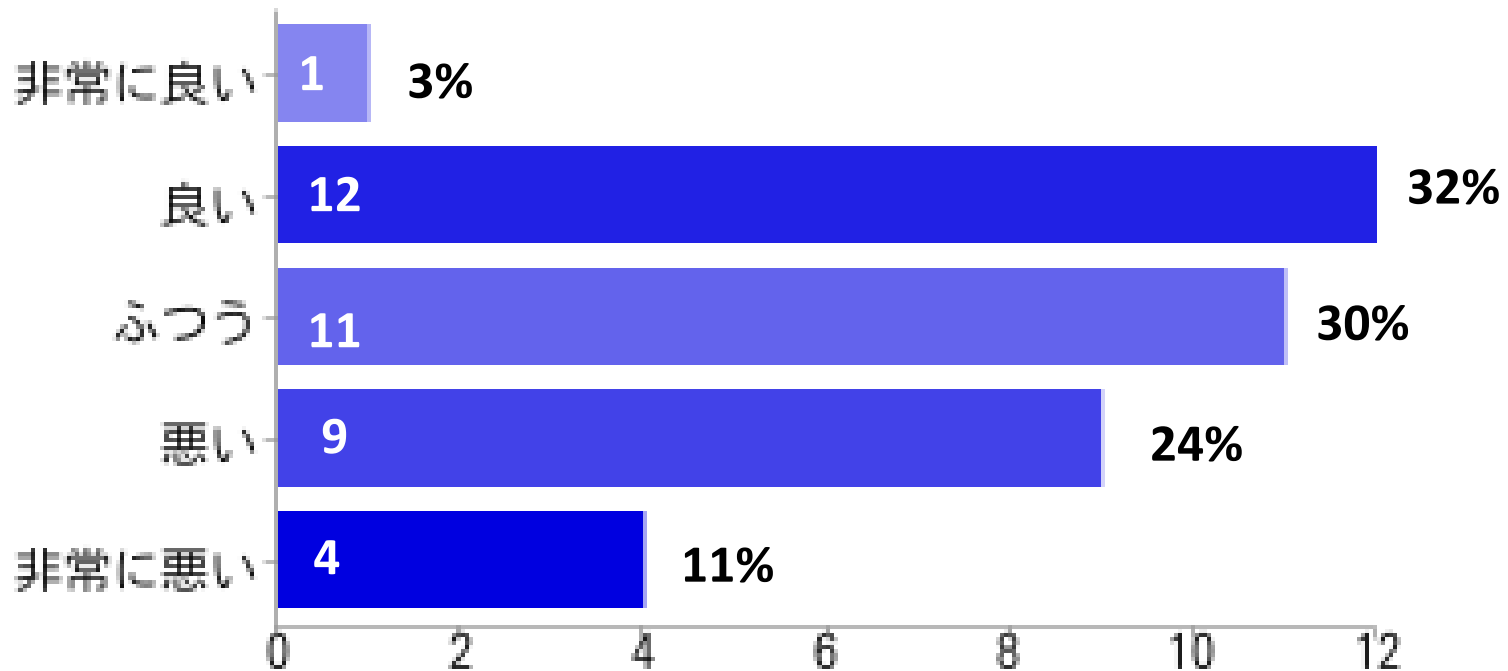


A-7. 主にどこで電子ブックをダウンロードしましたか？（複数回答可）



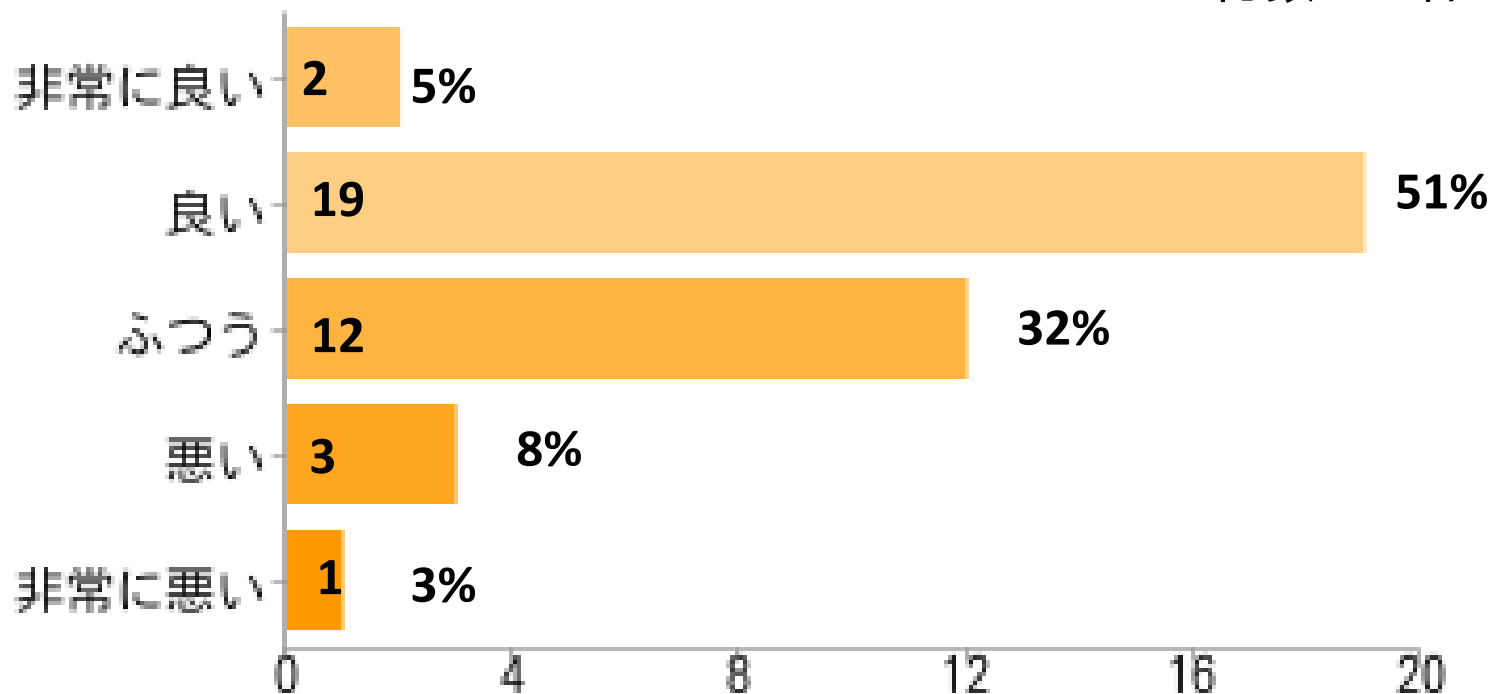
A-6. BookLooperの安定性 (起動やどの程度落ちたか)

総数: 37名

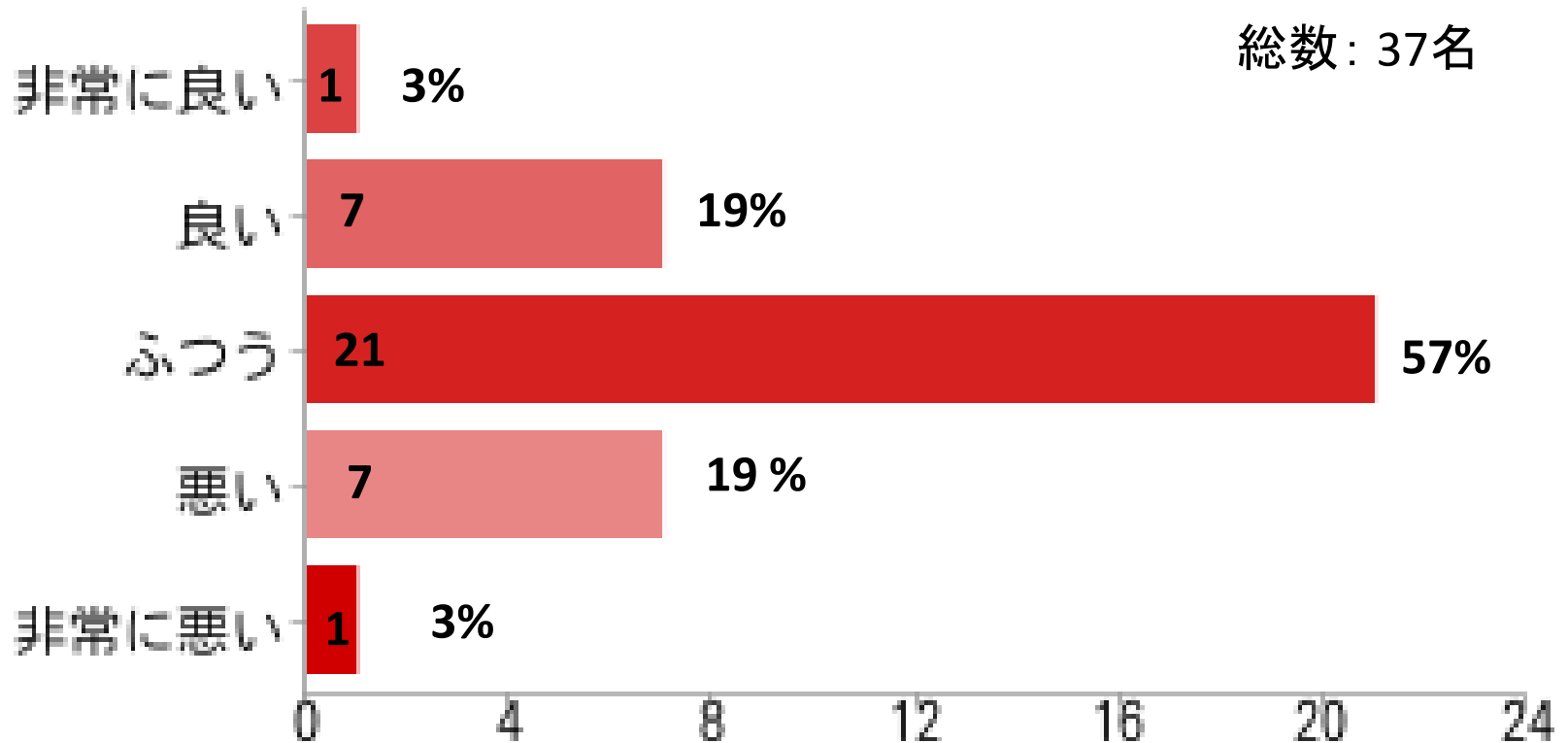


A-6. BookLooperの解像度 (ページの見やすさ)

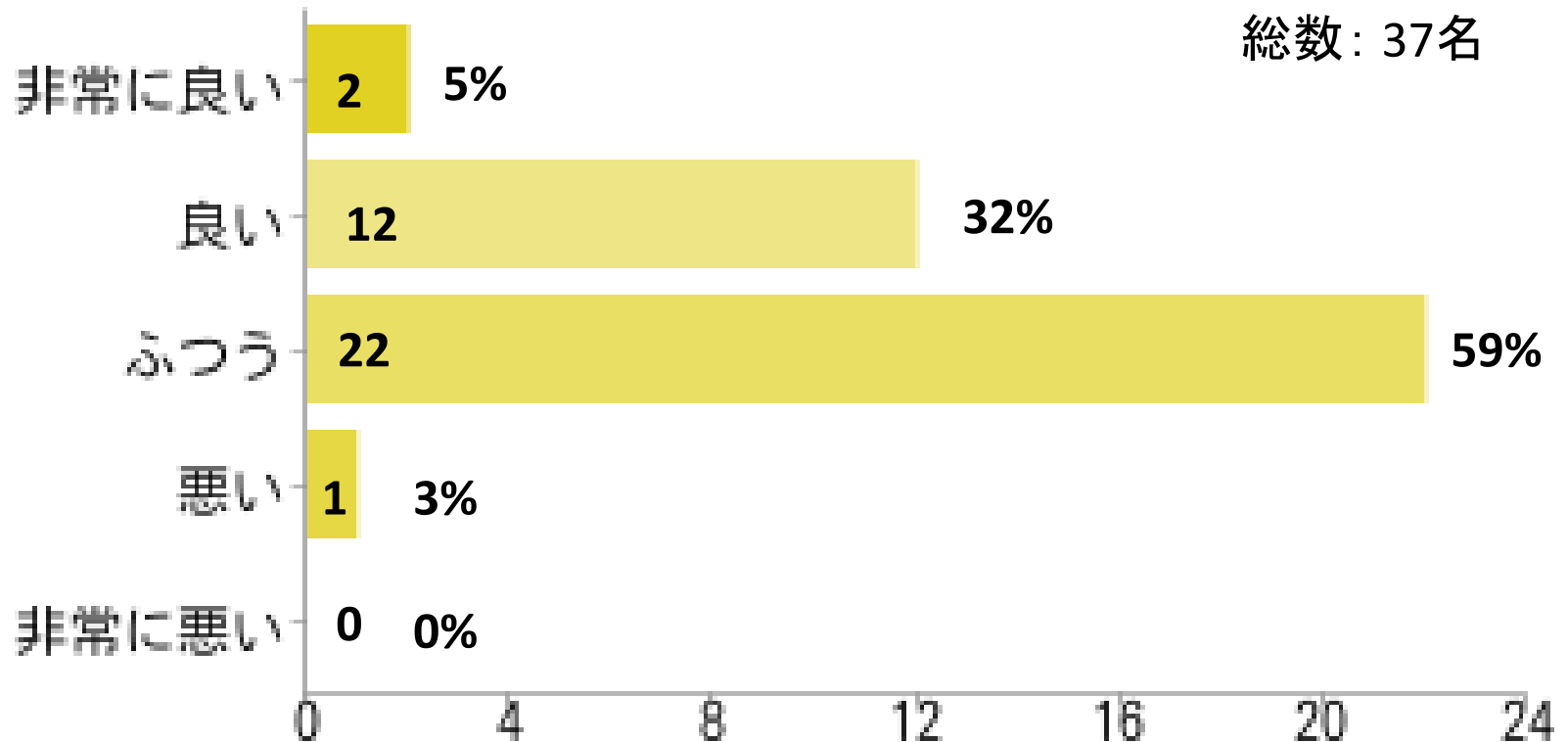
総数: 37名



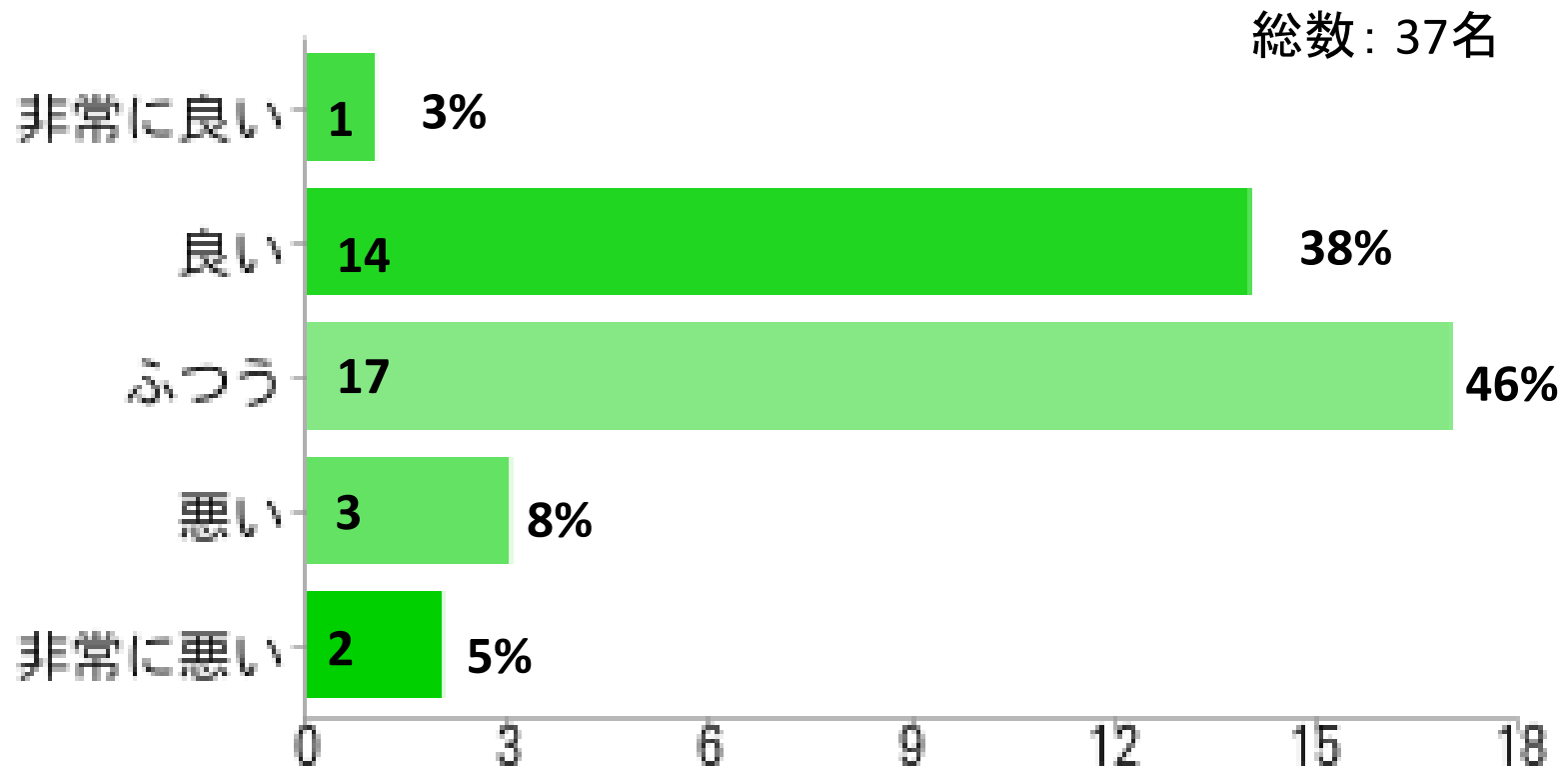
A-6. BookLooperの検索機能 (検索のしやすさ、精度)



A-6. BookLooperのしおり機能

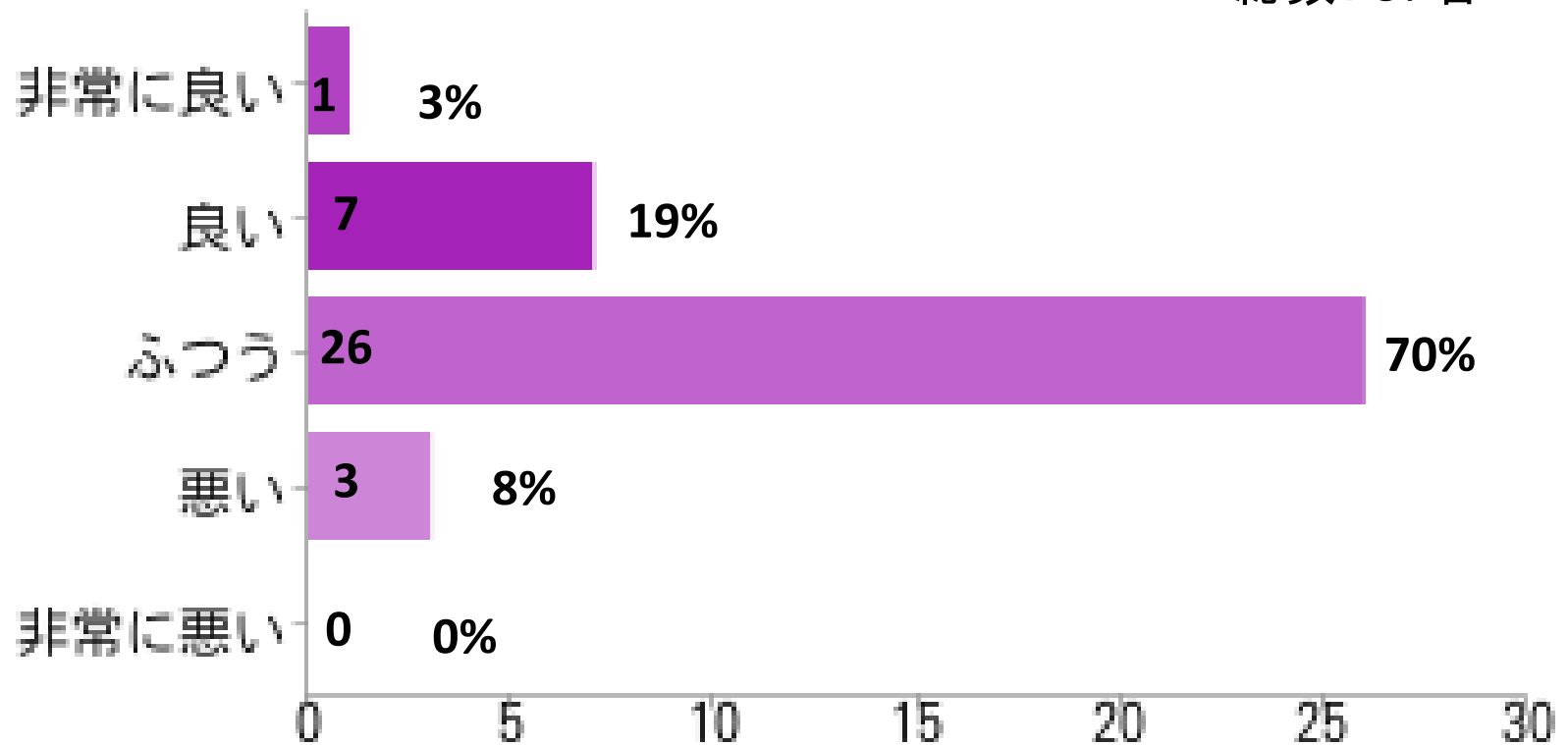


A-6. BookLooperのマーカ機能



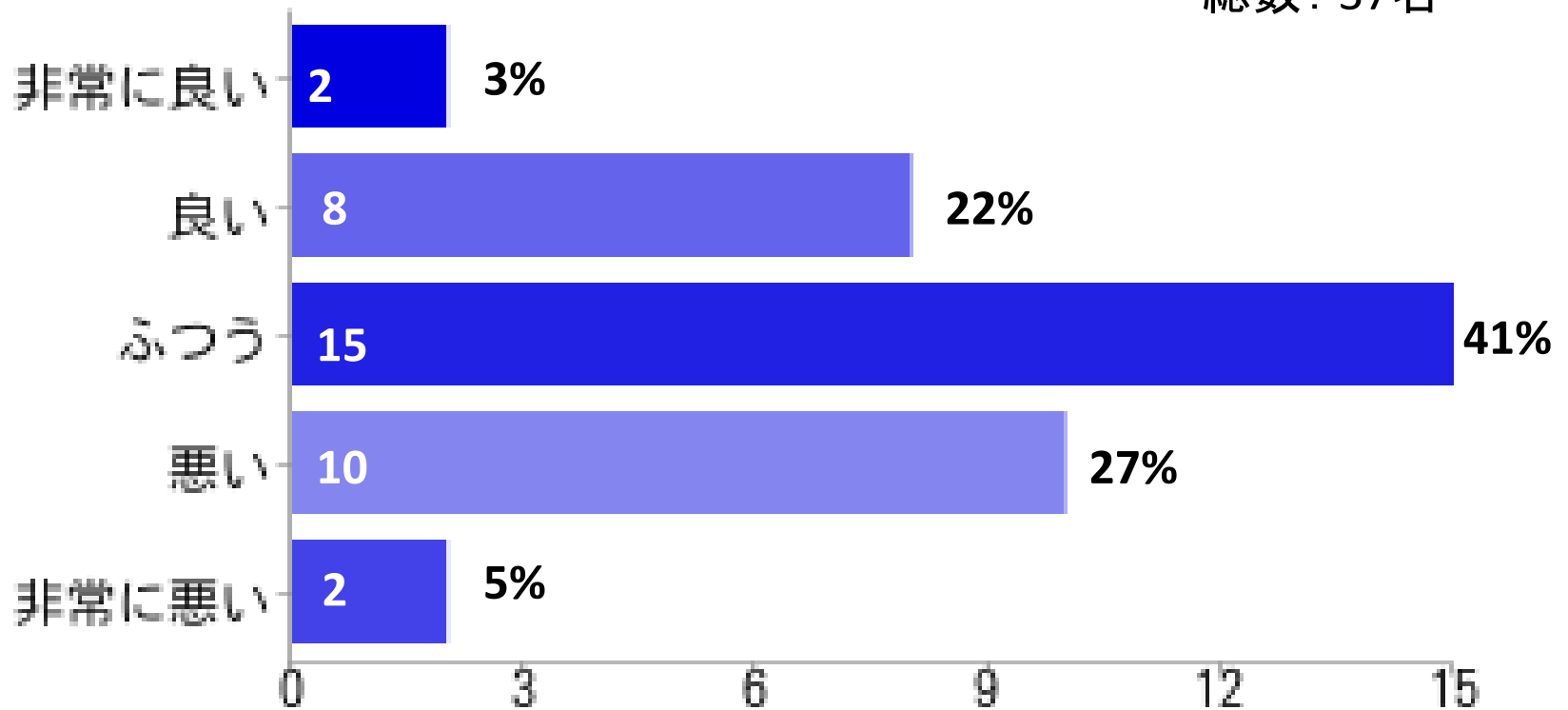
A-6. BookLooperのメモ機能

総数: 37名



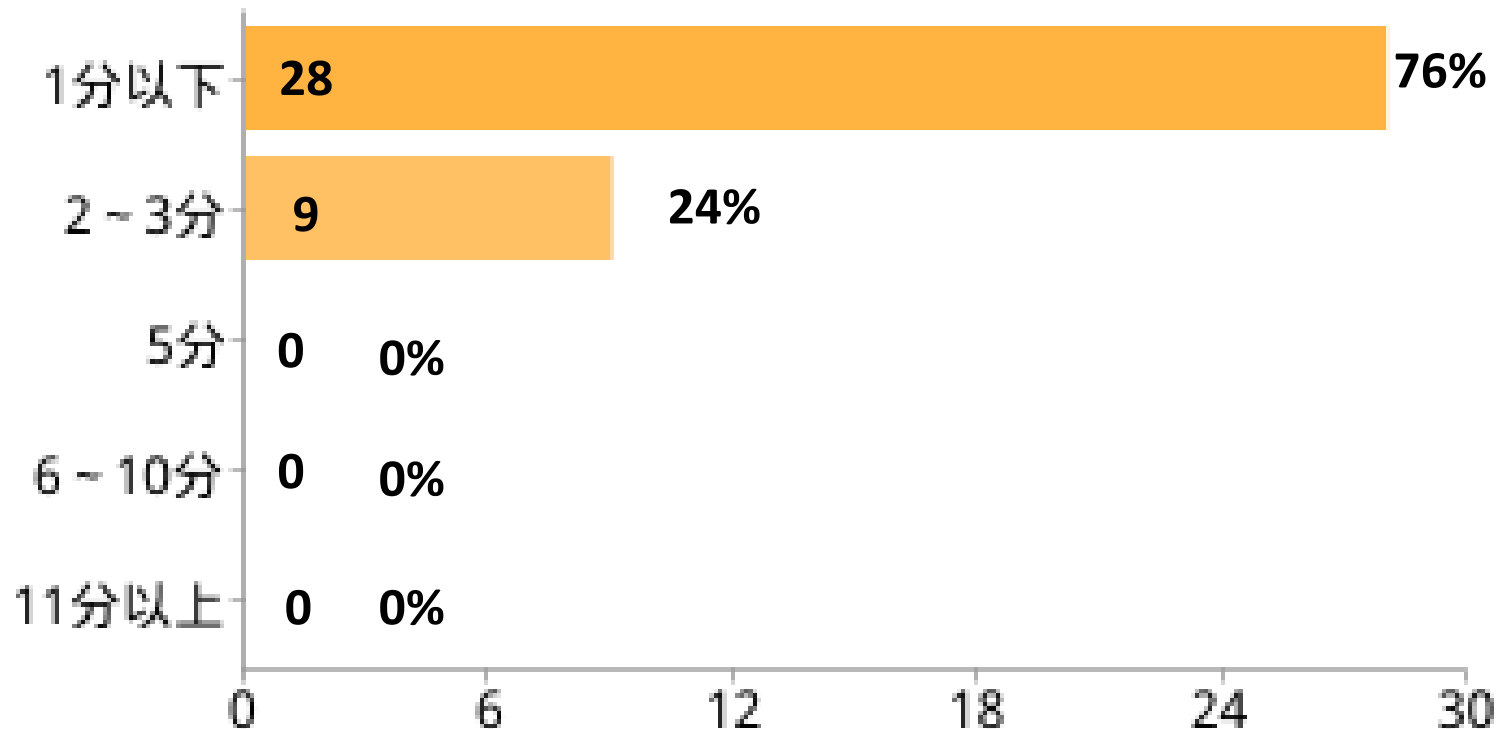
A-6. BookLooperのページ送り

総数: 37名



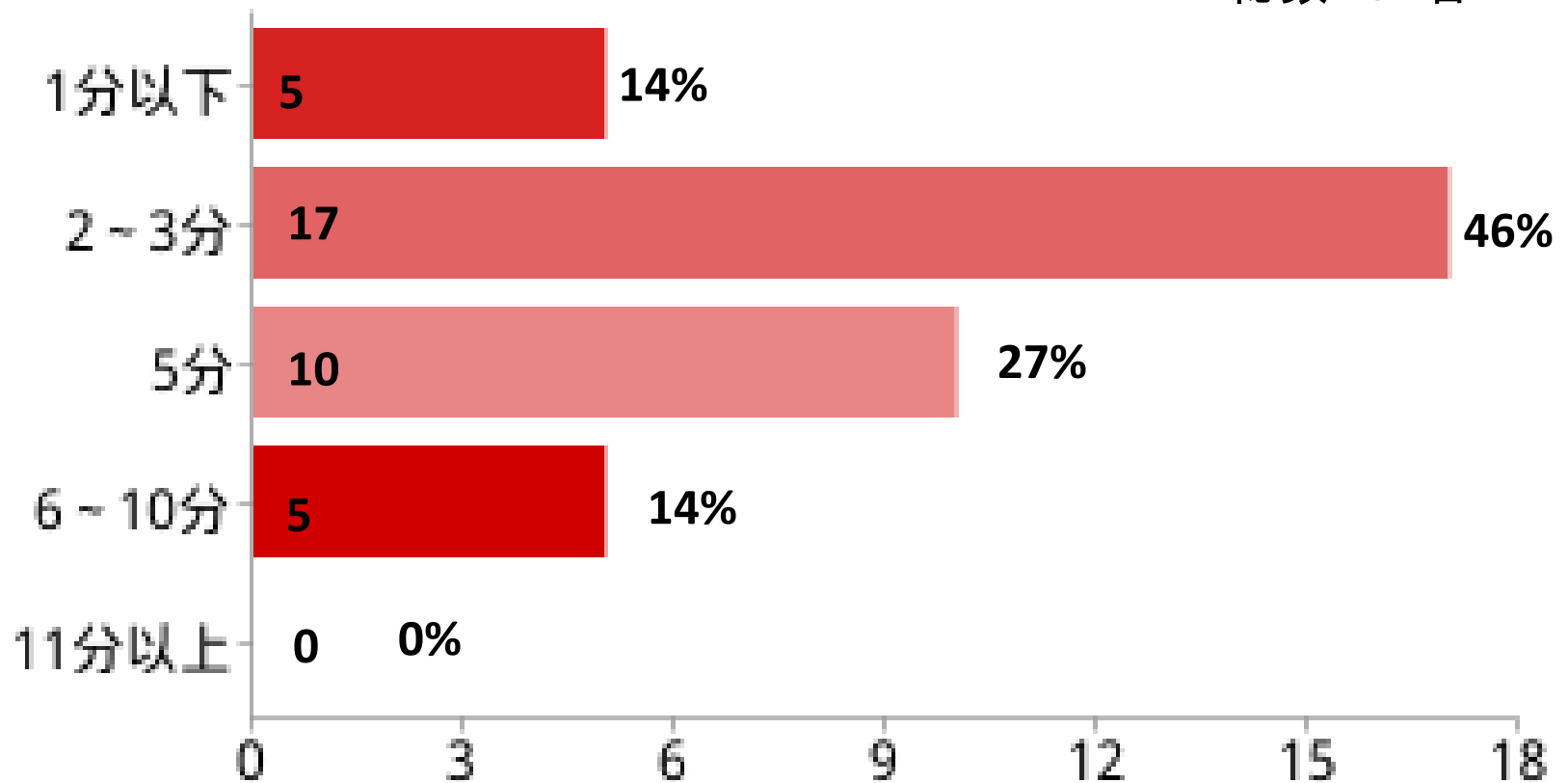
A-8. 理想のダウンロード時間はどれくらいですか？

総数：37名



A-9. 我慢できるダウンロード時間はどれくらいですか？

総数：37名

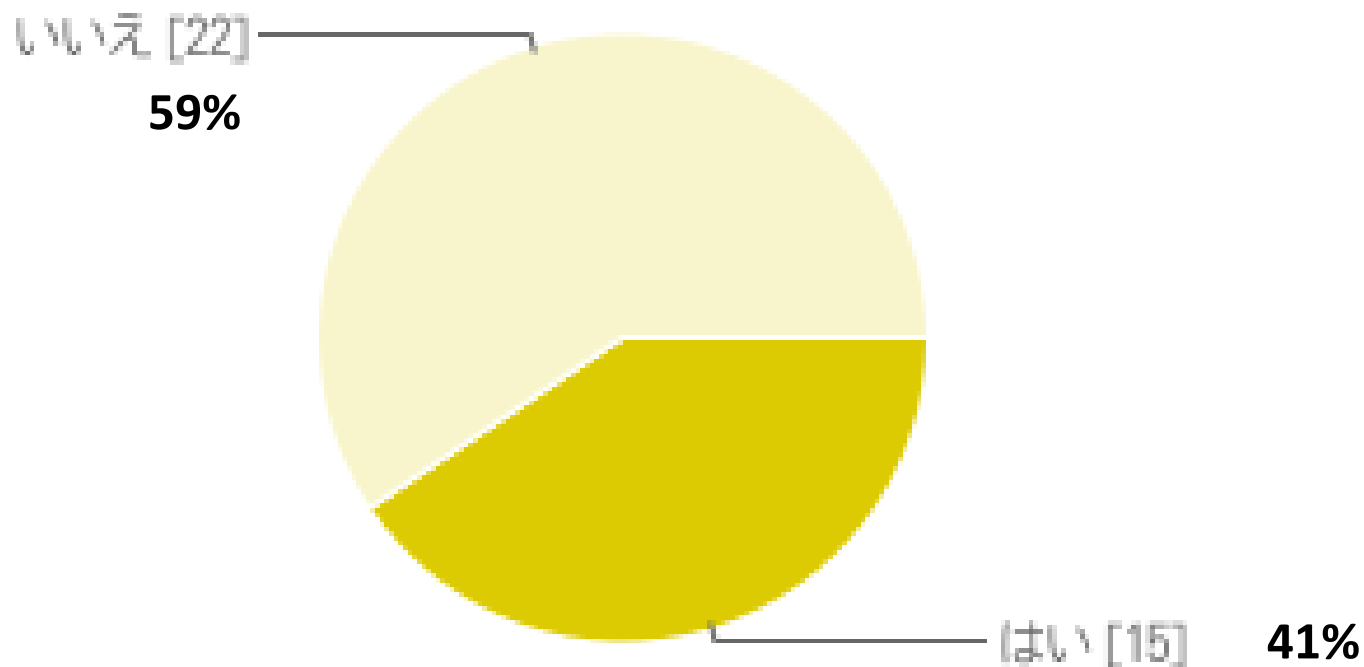


A-10 ダウンロード機能について (記述式:コメント例)

- 時間がかかる二段階でダウンロードするのが面倒
- やっぱり家でDLできるのは大きい。わざわざメディアに出て行く必要性がないので。プロセスをもっと簡素化すればいいと思う。
- ストア画面でのDLから本棚画面でのダウンロードに自動的に移行するようにしてほしい
- 全ページがダウンロード出来ていない状態でも一部が読めるのは便利
- 特になし→インタビューで詳細を確認

A-12. しおり機能やマーカー、メモ機能を他人と共有したいですか？

総数：37名



A-12 「はい」(共有したい)の理由

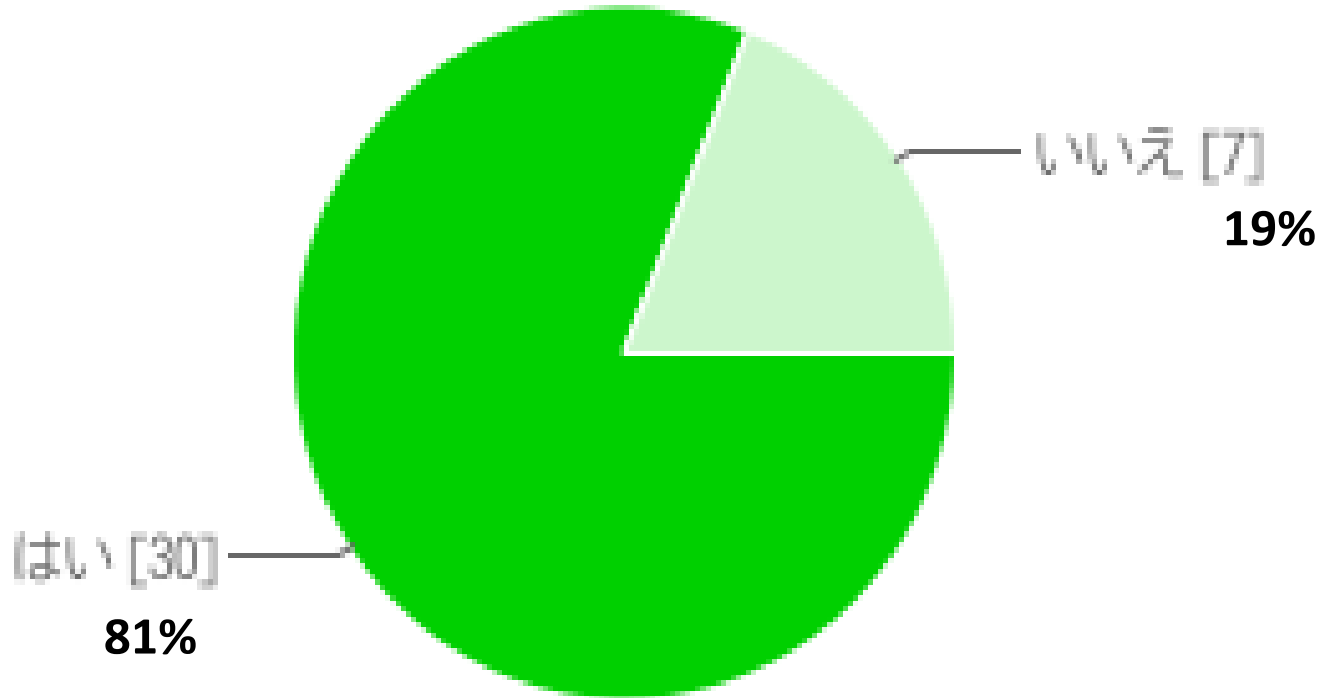
- 他人に読んでほしいところをしおりを使って知らせたり, 書き込みを他人と共有できたりすれば離れた場所においても情報を共有できるので。
- 共有したい人とはできる、あるいは共有する内容を取捨選択できるようにしたらよい。優秀な友人が何を読んでいるかを知れて、またそこから話が広がることは、勉学をしていく上で有意義と思われる。
- 共有に選択性があればいいと思う。

A-12 「いいえ」(共有したくない)の理由

- 特に必要ないように感じる。
- 他人の読み方に左右されたくないため。
- 自分の理解のためにしおりやマーカーを使うのは悪くないと思うが、他人との共有には疑問がある。本は著者の考えなどを基に作成されているので、読者の意思が入り込むような機能は、他人が読む場合に著者の意図を読み違えたり、理解する妨げになる可能性がある。なので、控えるべきだと考える。

A-13. BookLooperに 印刷機能は必要だと思いますか。

総数: 37名



A-13 コメント例：印刷は必要

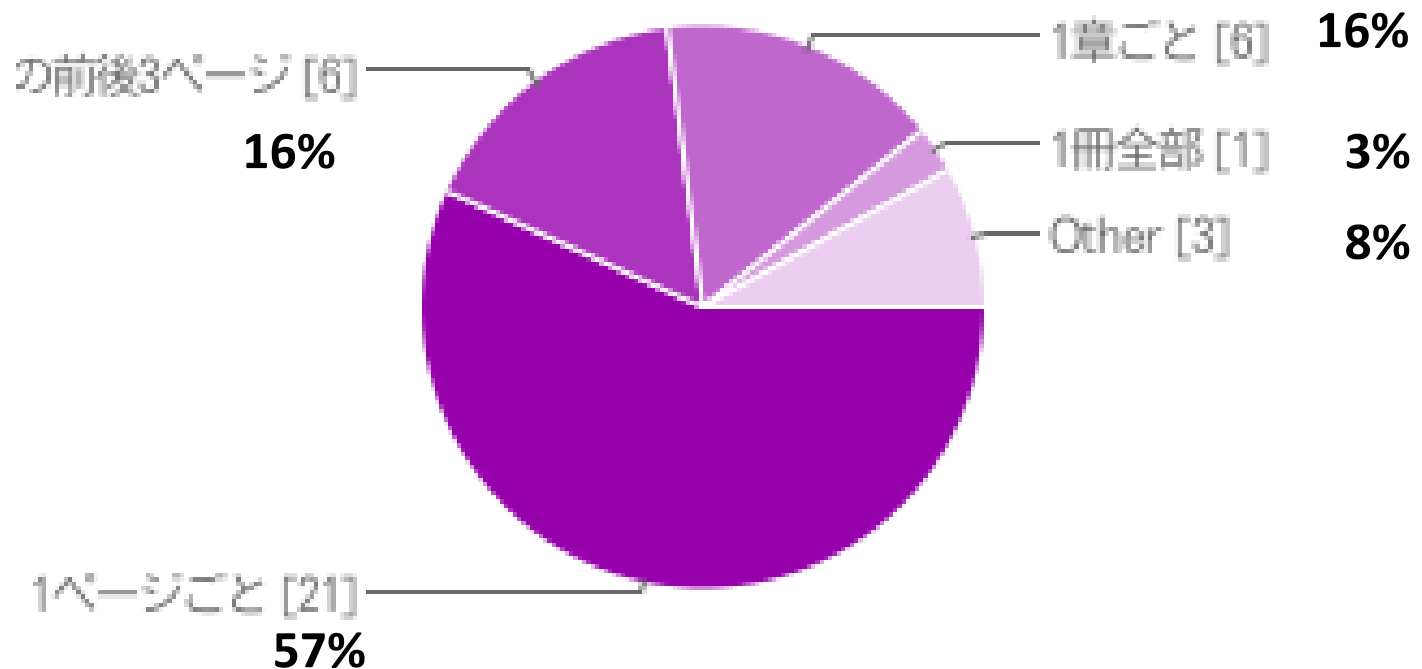
- 現段階では紙のほうがiPadの画面と比べて読みやすい。ほんとうに必要だと感じられる部分に関しては印刷できるようにしてほしい。
- 印刷によって、いくつものページを比較できた方が都合がよいから。
- とっておきたい資料や、参考にしたい資料は印刷したい。
- メモが増えてきたときに印刷したくなる可能性があるから。

A-13 コメント例：印刷は不要

- なぜ電子でせっかくあるのにそれを紙にする意味がわからない。
- 便覧に載せられるような複雑な図表ならば手で写すよりコピーしたくなりますが、実生活で本をコピーしたくなることがほとんどないので、あまり必要はないと思います。
- iPadを持っていればいつでも見られるため。

A-14. 印刷できる場合、 どんな単位で印刷したいですか。

総数：37名



A-15. 電子ブックにどんな機能がついていたら、コピー代以上で印刷したいと思いますか。(金額と理由)

5～10円	10円以上	その他 (金額記載なし等含)
18人	15人	4人
49%	40%	11%

プリントアウトやコピー代程度の価格を要望する意見がほぼ半分。

メモやマーカーが反映されていたり、コピー範囲を容易に指定して一度にプリントアウトできるようなのであれば、15円～20円などの価格でもよいという意見も4割程度あった。画像などもきちんと印刷できる必要があり、メモやマーカーについては、付けて印刷・付けずに印刷などのオプションも必要との意見があった。

A-16. 一冊3,000円の学術書(教科書・参考書)を電子ブックで買うとしたら、いくらで買いますか？

～1000円	1001～1500円	1501～2000円	2500円以上	10000円	その他
12人	14人	2人	7人	1人	1人
32%	38%	5%	19%	3%	3%

1000円、1500円という回答が多い。

モノとして存在する紙よりは安いことを希望する声が多い。

半額程度の価格付けの理由として、中古価格を目安にしている学生も多い。

コメント例：価格について

- 1000円くらいならうれしい。同じ値段であれば電子書籍ではない本を買う。理由は、やはりハードウェア(iPad)の充電状況や、トラブルが起こる可能性等を考えると、普通の書籍の方が信頼性が高いから。
- 1,500円。感覚として電子ブックの方が価値が低いと感じてしまうから。これまで紙媒体の書籍に慣れ親しんできたため、データのみ存在である電子ブックに同額を支払うのには抵抗がある。
- 3,000円。収納場所、持ち運びやすさ、という点にメリットがあるので、学術書以上の値段にならないければ、購入する。

A-17 電子ブックにしてほしい学術書

- 自由記述(省略)

A-18 BookLooperに搭載された電子ブックの改善点を記述してください。

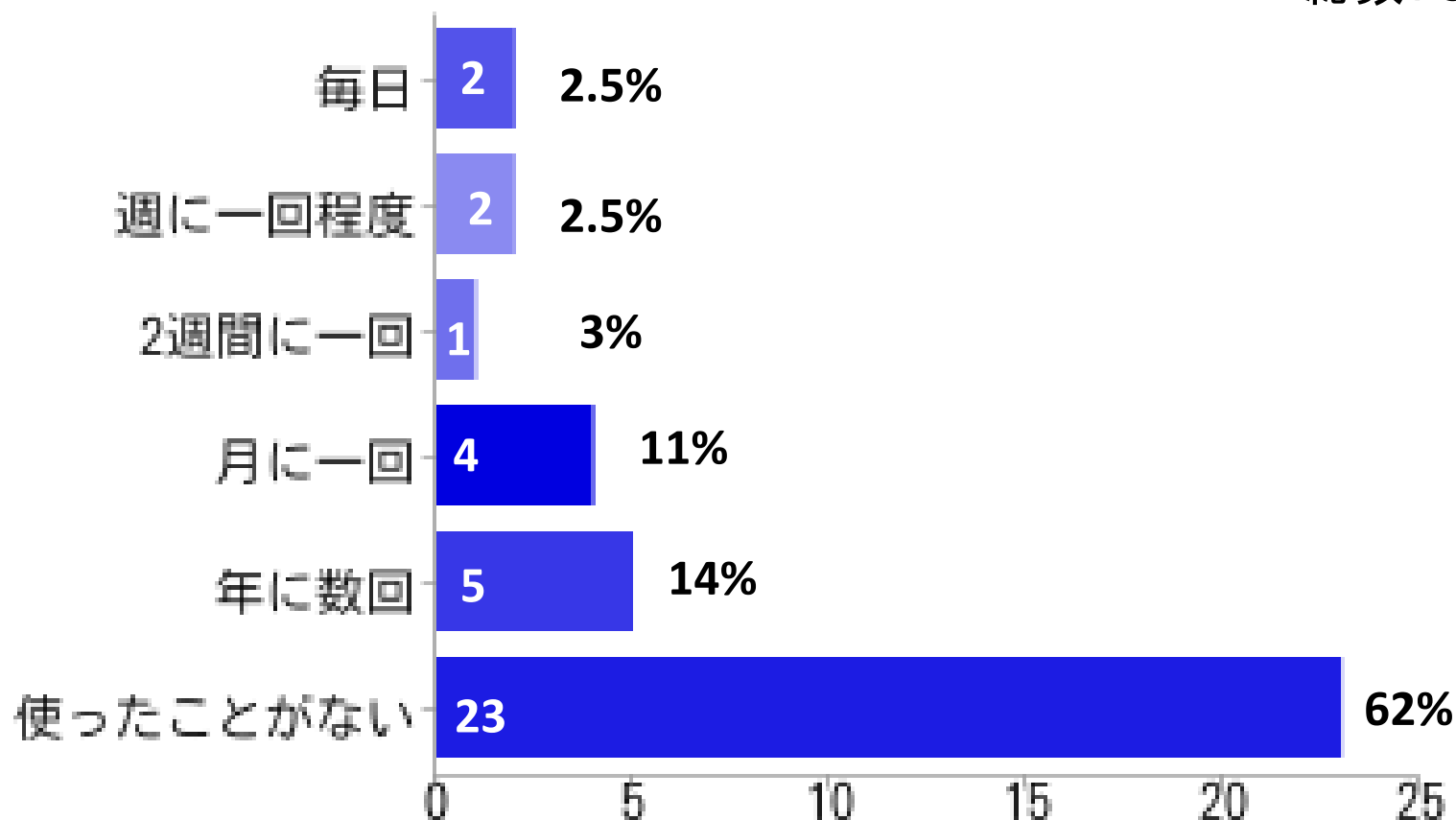
- 返却期限までの期間が短く読みきれなかった。設定はいらぬのでは。
- アプリの動作が遅い。
- めくり方が他の電子書籍に比べ少しくどい気がした。読みたい時はすぐに読みたいから、ホーム画面にアイコンのようなものが出せるといいと思った。あとは本が充実してくれば使うようになると思います。
- 図表のみのリンクを貼って、タブ機能と共に図表と文章を見比べられるようになると非常に便利。
- 本の種類の増加

- コンテンツの量と種類。多ければ多い程良いし、新しく話題の本や、古典がラインナップされるともっと使う機会が増えると思う。
- 返却日になったら勝手に本が返っていくのが嫌だったので、メディアの貸出期限お知らせのように、3日前ぐらいに表示されるとよい。
- 表紙だけではなく、内容も見ながらダウンロードする本を選びたい。分野分けをして欲しい。立ち上げが遅い。種類が少ない。返却期限が短すぎる。
- ダウンロードをするプロセスが非常に面倒くさい。借用の期間も短く、更新の手続きも面倒。

質問B.
資料や情報の使い方
についてお聞きします。

B-1. モニター参加以前に 電子ブックを使っていたか？

総数：37名



B-1. 使ったことがある電子ブック

以前モニター時にiPadを使って利用した人が数人いた。また、電子ブック以外に電子ジャーナルやデータベースを利用しているという意見があった。

- 以前のバージョンのBookLooper、前回の電子学術書利用実験プロジェクト時にiPadにインストールされていた電子ブックすべて
- iBooks
- 豊平文庫(青空文庫)
- 産経新聞
- 化学書資料館、判例集、新聞記事のデータベース

B-1. 使わなかった理由

- パソコンで見るには文字が小さいし、近くで見えないから、ストレスを感じる。
- 電子ブックを読むための端末をもっていなかったのだ。
- 電子ブックで読もうと思う書籍がほとんどなかったし、まわりの人達も使っていなかったのだ。

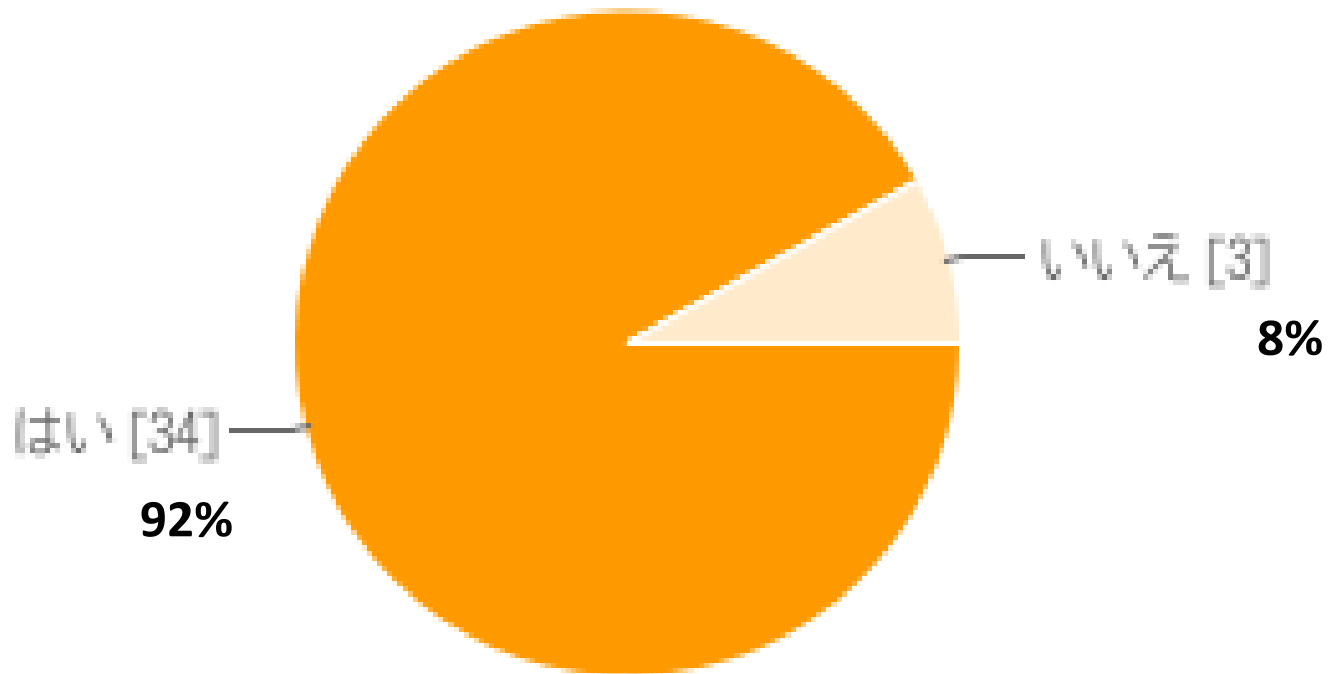
B-2. 紙の本と電子ブックは どんな風に使い分けていますか？

携帯性、内容、使う時間や場所を考えて使い分けしたり、今後使い分けたいと考えてている。

- 論文などの書き込みをする必要があるものは、マーカー機能やメモが使い易ければ電子ブックで読むが、使いにくければ紙の本で読む。
- 勉強に必要な学術書は紙の本、小説などの娯楽的な本は電子ブックで読むと思う。
- しっかり読みたい時は、本を買う 全体をなんとなく把握したい時は、電子ブックを使う。電車では非常に電子ブックが使いやすい
- 紙の本は、目的を定めて、腰を据えて読む目的で。長時間、図書館等で勉強する時など。逆に電子ブックは、空き時間など、電車内の移動中、カフェなど。

B-3. 今後もっと電子ブックを使ってみたいと思いますか？

総数：37名



B-3. 理由

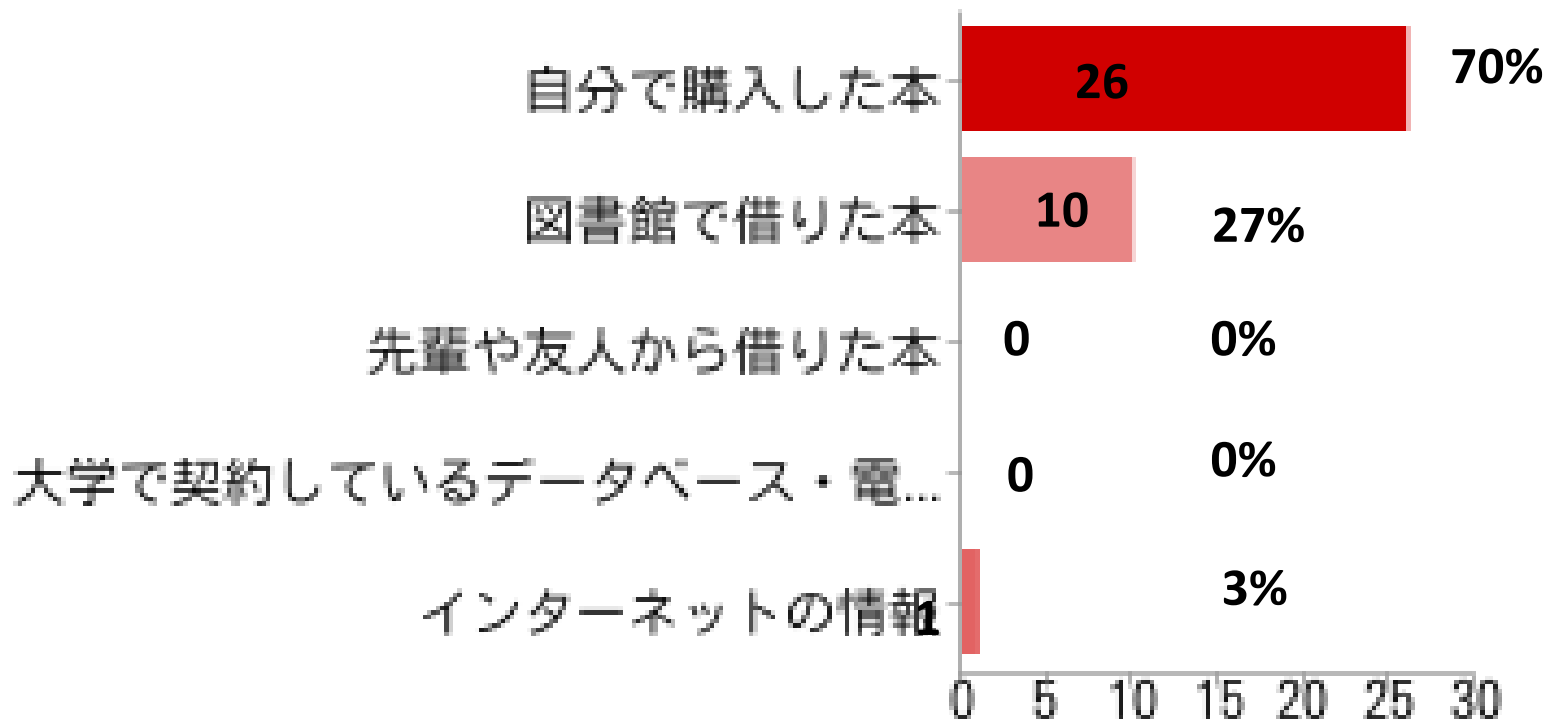
- 一度に多くの書籍を持ち運べるというのは魅力的
- 電車の中やちょっとした空き時間に使うのに便利 どれが読みたい、という目的がなくても媒体さえあればいいから
- これから電子ブックは量が増え、使いやすくなっていくと予想できるから。
- 「いいえ」というよりも、検索が必要な膨大な資料であれば使いたいと思うかもしれないので「はい」と「いいえ」の間なのですが、電子ブックはインターネット上の情報と同じく、来ては流れ去っていく流動的な情報のような印象が強く、きちんと手に入り頭に入った情報ではないような印象をもちました。印刷ができるとまた違うのかもかもしれません。抜き出したところもまとめて印刷して「引用ノート」のようなものが作れるといいと思います。

B-4. 現在、自分で買う本と図書館で借りる本は、どのような使い分けをしていますか？

- 買う本...ずっと持ち続けたい、何度も読みたい本。
借りる本...一回しか読まなそうな本、高い本。
- まず、ほしい書籍があれば、図書館にあるかどうかを調べます。あれば、図書館から借りて、まず読みます。読んだ後、この書籍はこれからも持つべきの良い内容でしたら、本屋で購入します。最初から図書館になれば購入します。もちろんアマゾンなどでユーザの口コミを参考にしてから購入を決めます。
- 書き込みしたい本(何度も使う本)は買うが、それ以外は借りている。

B-6.授業で、どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

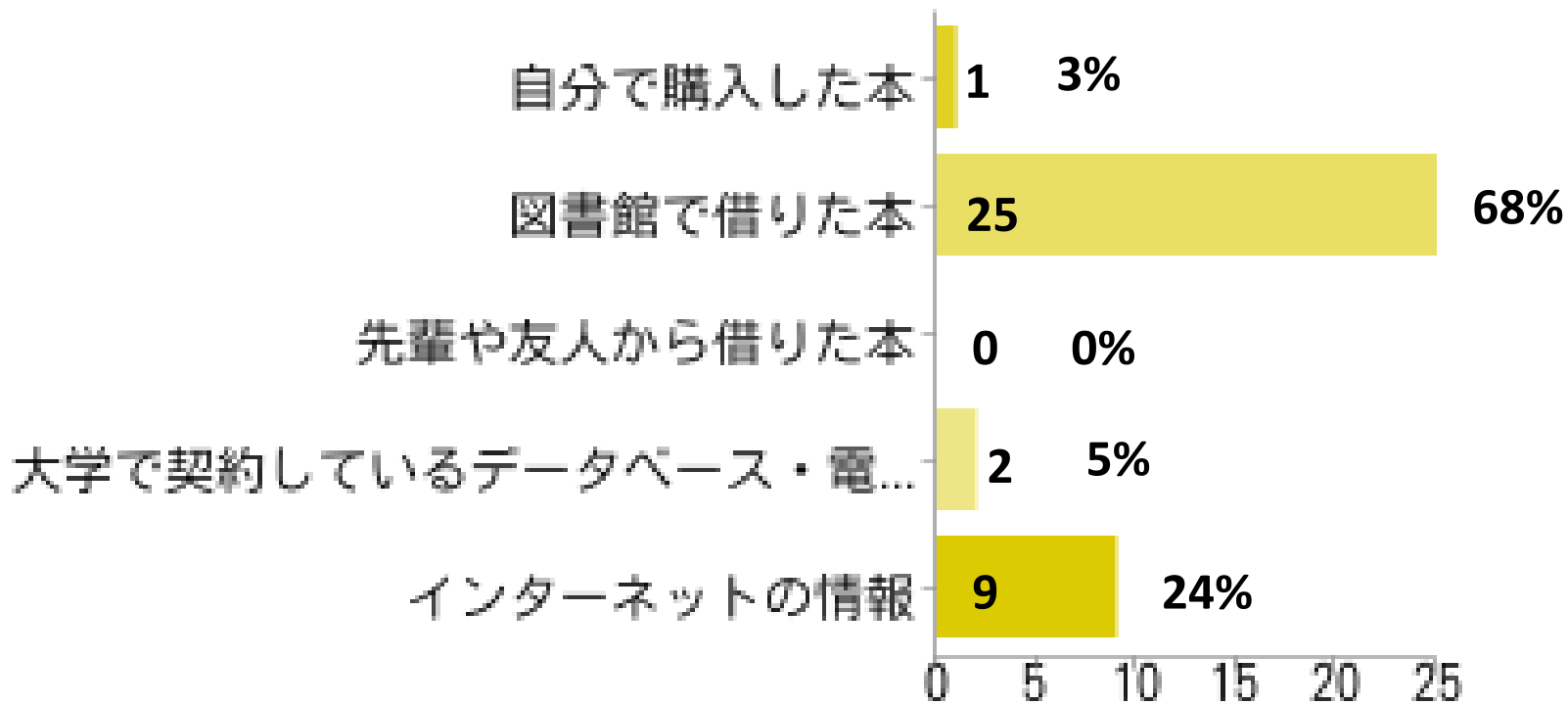


B-6. 理由や状況(授業)

- 授業で用いる本は基本的に購入して常に使えるようにしている。
- 授業⇒授業で使う本は一定以上の期間恒常的に利用するため購入する
- 授業では、課題図書がある場合がほとんどで、予習復習等、1学期間通して自分のペースでやりたいので購入することが多い。
- 授業で薦められた参考書をすべて買っていたら、高くつくから図書館で借りる。

B-6. レポート作成で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

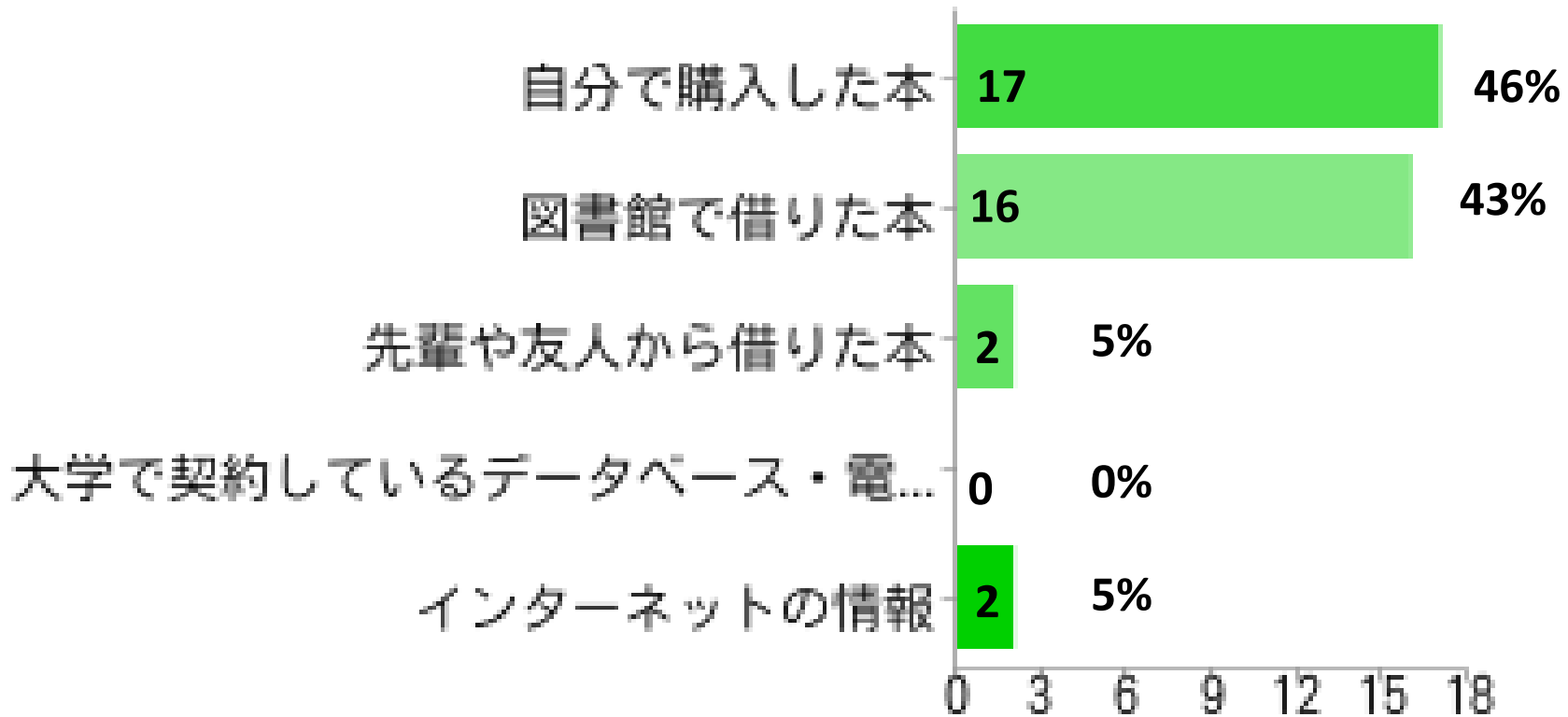


B-6. 理由や状況(レポート)

- レポートなどは何冊も参照することが必要なこともあるから買わない
- レポートは実験のレポート作成が多く、手っ取り早く該当箇所の内容について調べたいと思った時に図書館を利用する。
- レポートでは電子ジャーナルも用いるが、使いたい資料に限って公開されていない事が多いので、図書館の本に頼る事が多くなっている。

B-6. 定期試験勉強で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

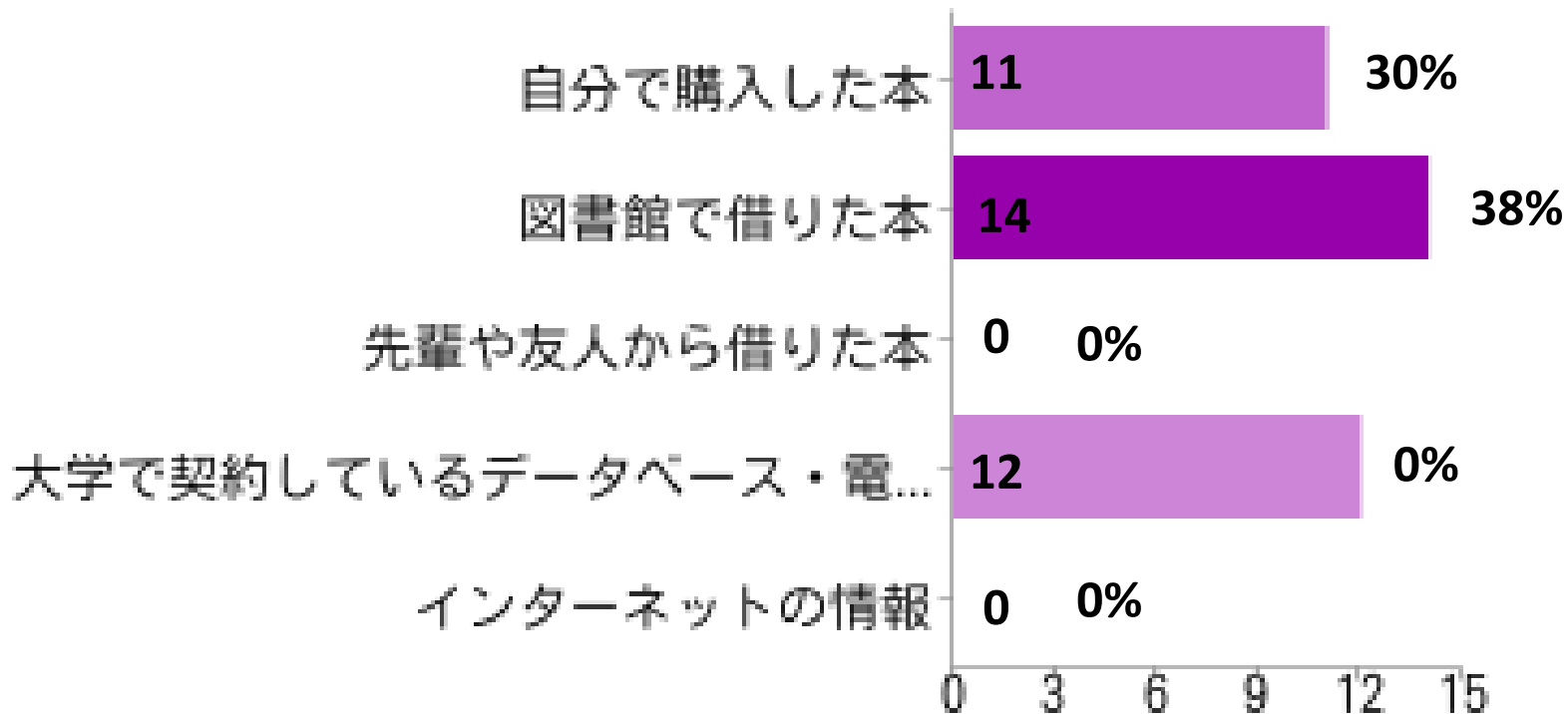


B-6. 理由や状況(定期試験)

- 試験も授業内容での試験なので、授業で使う本(=購入する本)がメインになります。
- 授業や定期試験勉強はリンクしていることが多く、長く使いそうな本を自分で買っているので主にそれを使い、補助目的で図書館で借りる。
- 授業と定期試験勉強には指定の教科書を使うため、購入した本を使います。
- レポート・試験勉強⇒一時的にしか使わないため購入はしない。また、インターネットは不確かな情報が多く混ざっているため、主に用いるのは図書館で借りた本になる。

B-6. 研究で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

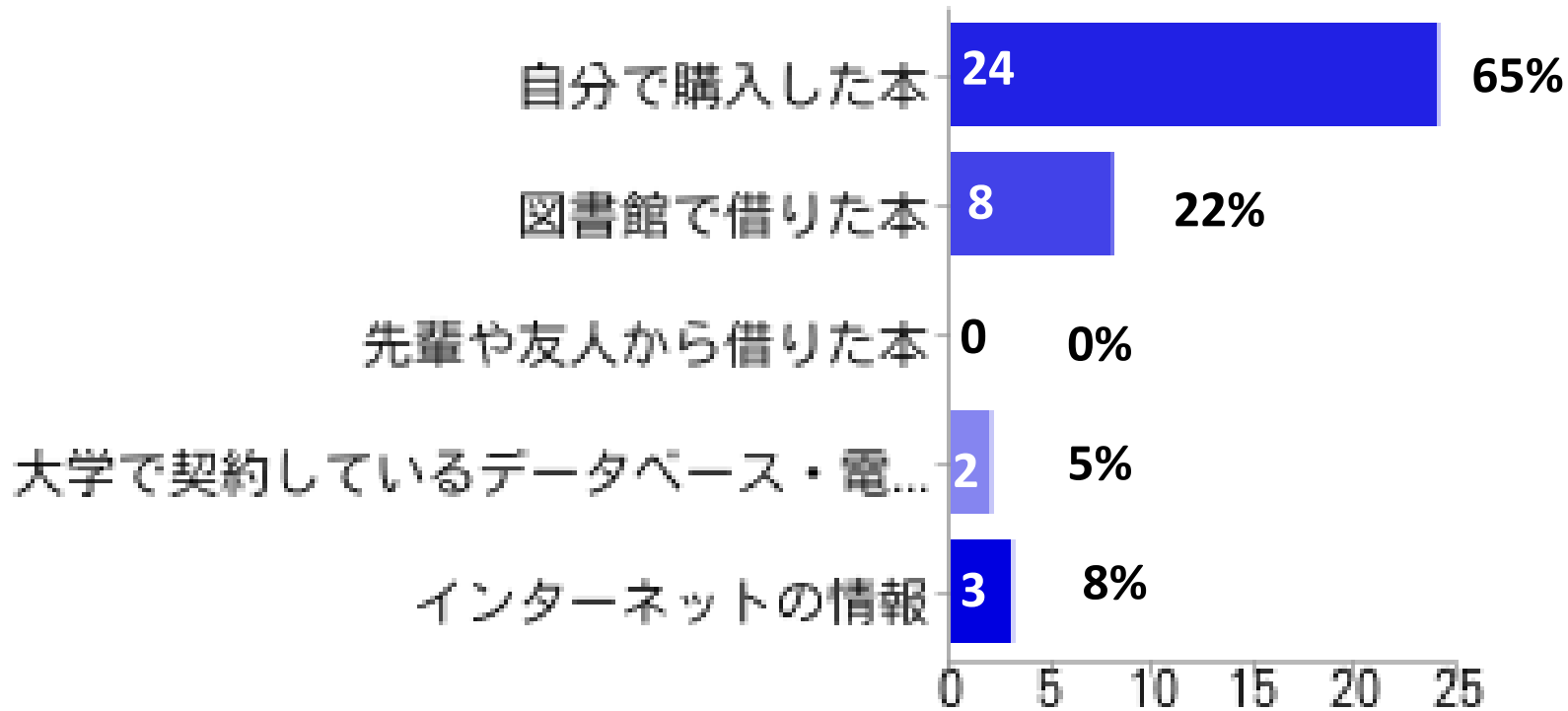


B-6. 理由や状況(研究)

- レポート作成や研究には、欲しい文献が検索するだけですぐに見つかるので、データベースを使うことが多いですが、データベースにないときには図書館の専門書を見ます。
- 研究→専門的な知識に関してはデータベースが豊富
- 研究に関しては電子ジャーナルで論文を読むということがほとんどである。最近の論文はほとんど電子化されていて大半は電子ジャーナルで読めるからである。
- 研究は研究室の本プラス図書館で調べる。

B-6. 個人の勉強で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

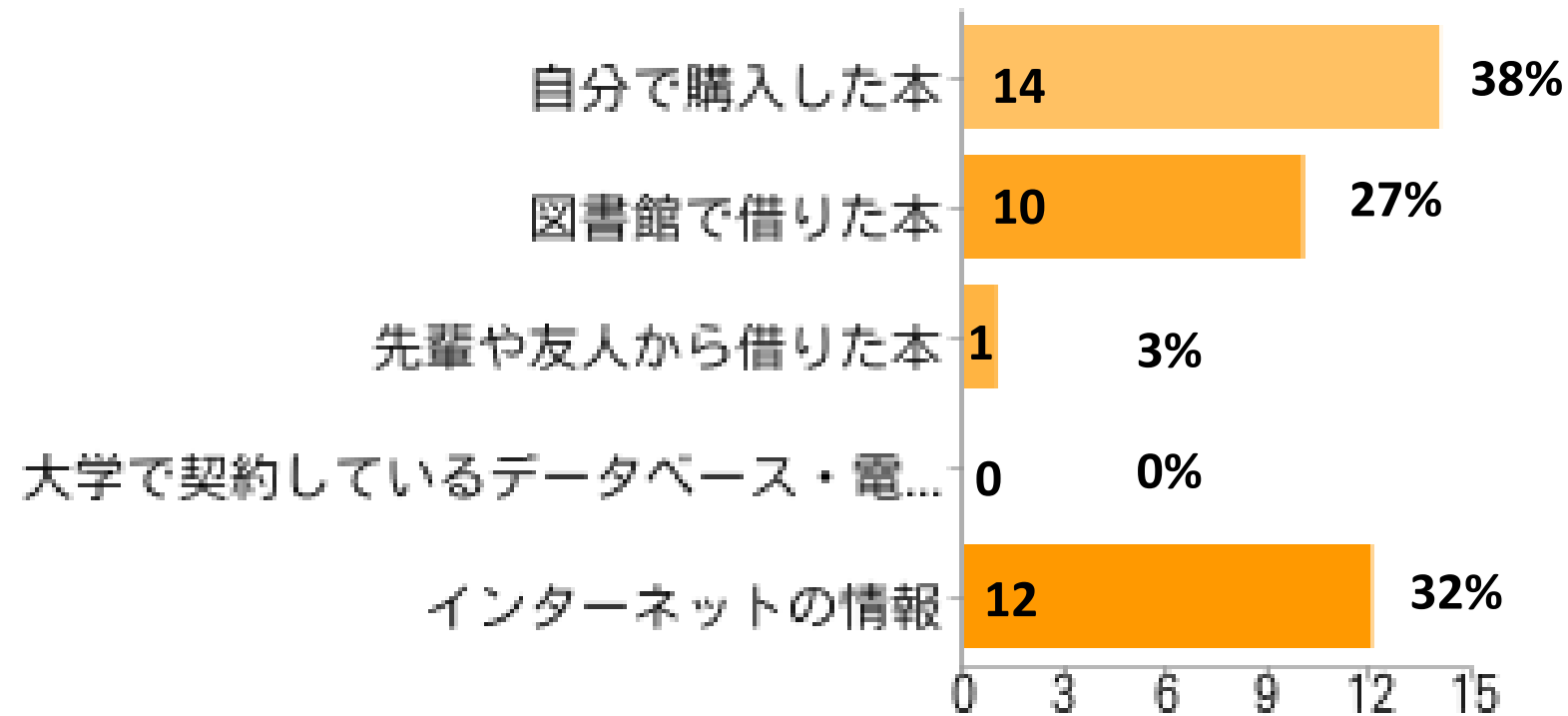


B-6. 理由や状況（個人の勉強）

- 個人の勉強は自分の好きなことを勉強するので、本を買って書き込んだりして使いたい。
- 個人の勉強ではやったところに印をつけていって達成感を得るのがすきなので、借りた本よりも買った本をよく使っている。

B-6. 趣味・娯楽で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名

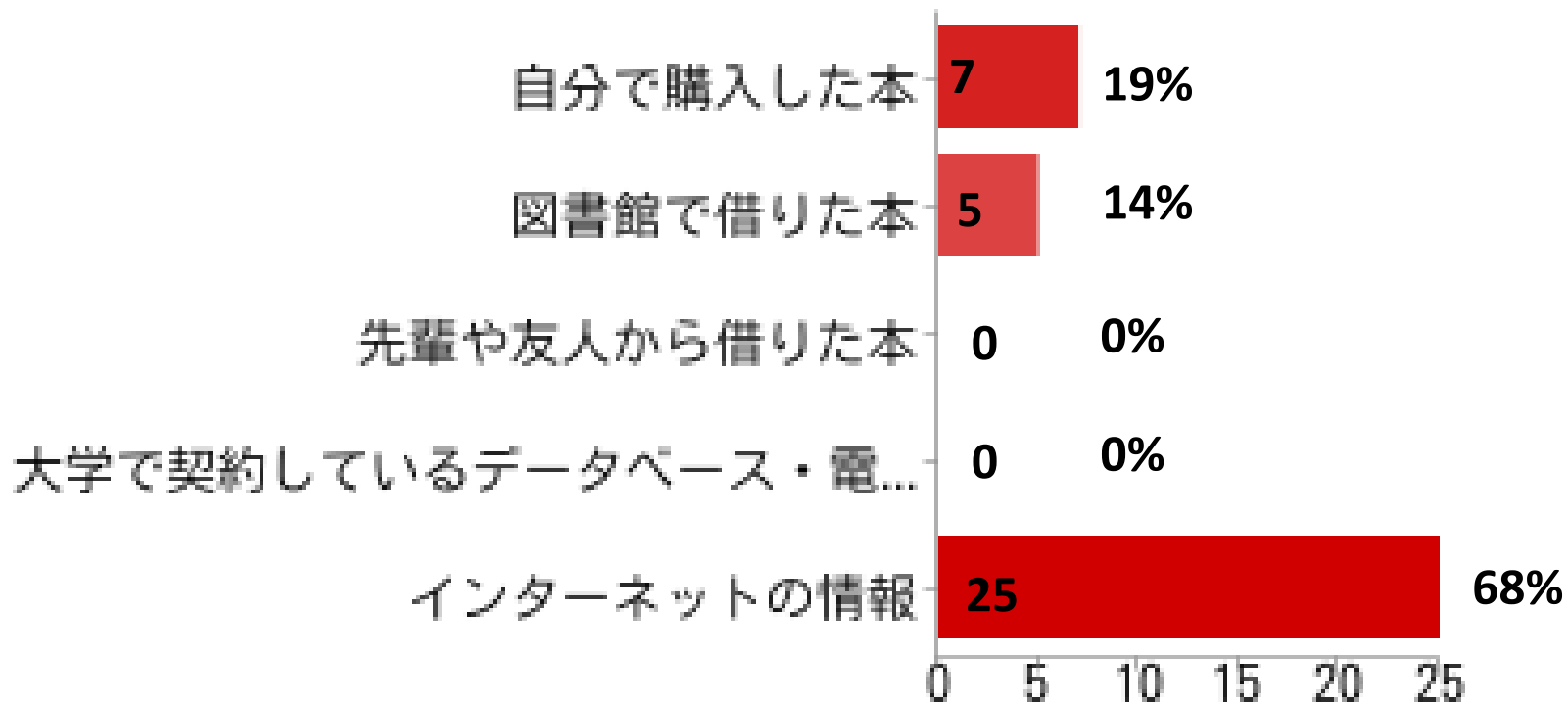


B-6. 理由や状況(趣味・娯楽)

- 趣味・娯楽の本は一生ものなので自分で買い、何度も楽しむ。
- 趣味の分野には、お金を惜しまないので購入しやすい。
- その他の個人勉強や娯楽などは、インターネット情報を先に参考にして、必要であれば、関連書籍を購入するパターンが多いです。
- 趣味・娯楽・サークル活動などは、情報の質も低くていい場合が多いのと、お金をかけるのがもったいないので、インターネットで済みます。

B-6. 部・サークル活動で、 どんな情報を一番利用しますか？

総数：37名



B-6. 理由や状況（部活・サークル）

- サークル活動に関しては、情報量の多いインターネットを使うのが一番便利だと感じている。
- サークルではやはりその場に応じた情報収集が求められるため、インターネットを活用することが多い。
- 正確な情報は必要とせず、手軽に情報を得ることが目的になるため、インターネットを主に利用する。

B-7. 過去1年間に、何冊くらい図書館で本を借りましたか？

～5冊	6～10冊	11～20冊	21～30冊	31～40冊	41～50冊	51～70冊	71～100冊	101～200冊
3人	1人	11人	5人	4人	2人	3人	5人	3人
8%	2%	30%	16%	11%	3%	8%	14%	8%

- 平均 約48冊

B-8. 将来の電子ブックはどのようになっていると思いますか？5年後を想像し、自由に書いてください。

<普及している>

- 本の電子書籍化が進み、今と比べて分野も書籍数も多くなって、もっと一般に普及していると思う。
- 今電子ブックデバイスは、iPadかキンドルくらいしか主流なものがないが、今後増えていくのなら電子ブックは増えていくように思える。
- 利用者が増えてるのは間違いない。一方紙媒体を追いやるほどではないと思う。
- 5年後は電子ブックの数が多くなっており、また通信インフラもよくなり、電車の中でも通信ができていると思います。自由に通信ができ、思いついた瞬間その場で、書籍を検索し、口コミや目次などから購入するかどうかを判断して、購入します。電車にのって、目的地までいく間に読みたい本を読み、フェイスブックなどのSNSにどの本を読んでいる、この部分が良かったなどの情報を共有すると思います。

B-8. 将来の電子ブックはどのようになっていると思いますか？5年後を想像し、自由に書いてください。

<まだ普及していない>

- 5年後はまだ日本では電子ブックに変化はないと思われる。著作権法の改定、また権利者への印税の増額等で権利者に電子化を進める意欲を持たせないで現状のまま変わらないと思われる。
- まだ普及しない。出版業界や書き手がまず電子に向かわないと、紙を電子にする手間をふんでいるかぎり普及はまだまだ。情報に強い人間には普及し、情報弱者はいつまでも紙にこだわると思う。ただ、電子ブックが拡大市場であることは確か。

B-8. 将来の電子ブックはどのようになっていると思いますか？5年後を想像し、自由に書いてください。

<電子学術書に関する意見>

- 学術向けになるのはもっと先の時代となると思う。先生が作ったpptや授業補助資料などを電子書籍端末で読む学生は増えている気がする。
- 一部の先生が自分のレジュメと電子の教科書を連動させ始めそれを他が追随する 学生の間では流行が発生し、読まれる本と読まれない本の差が顕著になると思う
- 論文程度であれば学術的な内容でも電子ブックで読む事は広まると思うが、学術書となるとそれら程は広まらないと思う。
- 学術書, 参考書など書き込んだりするものは一部紙媒体が残っていると思う。
- iPad + Kindleのような目に優しいカラーのリーダーが登場して、書き込みながら使える電子ブックが大学で利用できるようになっていて、と嬉しい。
- 授業の教科書はすべて電子ブックになっている。
- 学術書や論文がすべて電子ブックになっていると考えます。
- 5年後にはかなり我々の生活に電子ブックが定着していて、大学では”ペーパーレス・オンライン講義”を売り出すところが出てくるかもしれない。

B-8. 将来の電子ブックはどのようになっていると思いますか？5年後を想像し、自由に書いてください。

<図書館に対しての意見>

- いつでも使える図書館のような存在。貸出中によるストレスがなくなる。
- 図書館の本は全て電子書籍として借りることができるようになっていなければならない(これは慶應が主体的にやるべき)
- 図書館の本も大多数が電子化している。